

< 沖縄県立開邦高等学校 >

( 公 民 ) 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数 (標準単位)	学科・学年・学級
社会セミナー	2単位	芸術科

1. 学習の到達目標等

学習到達目標	各科目の特質と相互の関連性を考慮しながら、習得した知識、概念や技能を活用して、世界や日本の歴史的事象や地理的事象について考察し、その内容を説明したり自分の考えを論述したりすることを通して、社会的事象についての見方や考え方を深める。		
使用教材・副教材等	『新世界史B』(山川出版社) 詳説 日本史B (山川出版) 新詳高等地図 (帝国書院) 新詳地理資料 COMPLETE2021 (帝国書院) 高等学校 現代社会 (第一学習社)	学習 形態	一斉授業 グループ 学習

2. 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点	考 査 範 囲
一 学 期	4	世界史 B 第 1 章～16 章	世界史 B、日本史 B、地理 B それぞれの選択する科目に分かれ、これまでの学習範囲を再確認する。 世界史 B、日本史 B においては短文を中心とした記述と歴史史料を用いた事象の読み取りを行う。地理 B においては短文を中心とした記述とデータをを用いた資料の分析の仕方や読み取りを行う。	・世界史 B、日本史 B、地理 B、現代社会のそれぞれの科目で学んだ知識の定着を確認し、補完すべき分野・範囲を中心に、流れや関連性の理解に努めることができたか。 ・正しく短文記述が行えたか、記述する際の注意点に気づくことができたか。 ・史料から時代の特徴を掴むことができたか。 ・データを正しく読み取ることができた、物事を結びつけて考える事ができたか。	中間 考査  期末 考査
	5 6 7	日本史 B 第 1 章～12 章 地理 B 第 1 章～4 章 現代社会第 1 編 第 2 章～第 3 章			
【1 学期の評価】 定期考査・提出物・学習活動への参加態度などにより総合的に評価する。					
二 学 期	7	世界史 B 第 1 章～16 章	世界史 B、日本史 B、地理 B、現代社会それぞれにおいて、各分野の重点項目を中心に 200～1000 字程度の論述を行う。	・正しく記述が行えたか、記述する際の注意点に気づくことができたか。 ・史料から時代の特徴を掴むことができたか。 ・データを正しく読み取ることができた、物事を結びつけて考える事ができたか。	中間 考査  期末 考査
	8 9 10 11 12	日本史 B 第 1 章～12 章 地理 B 第 1 章～4 章 現代社会第 4 章～第 5 章			
【2 学期の評価】 定期考査・提出物・学習活動への参加態度などにより総合的に評価する。					
三 学 期	1	世界史 B 第 1 章～16 章	現代の諸課題のうち、「貧困」、「開発」、「平和」を題材に自由論述を行う。教科書・資料集をもとに進め、適宜、グループでの学習を設定・実施する。	・テーマに沿って、正しいデータを用いて、記述することができたか。 ・グループ活動において、建設的な意見交換が行えたか。 ・協力して話し合いを行うことができたか。	
	2	日本史 B 第 1 章～12 章 地理 B 第 1 章～4 章 現代社会第 6 章～第 7 章			
【3 学期の評価】 提出物・学習活動への参加態度などにより総合的に評価する。					
【年間の評価】 知識・理解・意欲・態度などこれまでの取り組みから各学期の評価をもとに判断する。					